

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月23日

協議会名: 福岡県交通対策協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
堀川バス株式会社	羽犬塚～ゆめタウン前～福島～黒木	「八女市路線バス通学定期券補助」の学校・家庭への利用呼びかけや、チラシの配布を実施した。ICカード利用による利便性向上の周知や小中高生の「100円・200円運賃」の周知を行い、休日の利用の呼びかけやチラシ配布を実施した。イベント時にバスの体験乗車会や、筑後広域公園で利用促進のキャンペーンを実施し、利用の呼びかけを行った。	A 計画通り適切に実施された。	B 【目標】収支率36.6% 輸送人員80,477人 【実績】収支率34.9%(▲1.7%) 輸送人員91,115人 利用者が増加し、輸送人員の目標は達成したが、人件費・燃油価格等の上昇により経費が増加した為、収支率は目標を達成できなかった。	通学定期券補助事業や割引サービスなどの周知継続、八女市乗合タクシーとの接続による利便性向上、イベントに付随した無料バス及び体験乗車会の実施を通じて、地域住民のバス利用を促進する。これらの取組により、利用者増加と収支率改善に努める。
堀川バス株式会社	羽犬塚～蒲原～福島～黒木	「八女市路線バス通学定期券補助」の学校・家庭への利用呼びかけや、チラシの配布を実施した。ICカード利用による利便性向上の周知や小中高生の「100円・200円運賃」の周知を行い、休日の利用の呼びかけやチラシ配布を実施した。イベント時にバスの体験乗車会や、筑後広域公園で利用促進のキャンペーンを実施し、利用の呼びかけを行った。	A 計画通り適切に実施された。	A 【目標】収支率36.0% 輸送人員73,765人 【実績】収支率56.4%(+20.4%) 輸送人員61,576人 前年より系統を一部変更した為全体の利用者は減少し、輸送人員自体の目標は達成できなかったが、収支率は改善した。	通学定期券補助事業や割引サービスなどの周知継続、八女市乗合タクシーとの接続による利便性向上、イベントに付随した無料バス及び体験乗車会の実施を通じて、地域住民のバス利用を促進する。これらの取組により、利用者増加と収支率改善に努める。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
堀川バス株式会社	福島～鎌水～西鉄久留米～久留米駅	ICカード利用による利便性向上の周知やバス利用の呼びかけを行う。公共交通マップを作成、利用者へ配布し利用促進を図る。1日乗車券や運転免許返納による割引証の発行により利用促進を図る。	A 計画通り適切に実施された。	B 【目標】収支率56.8% 輸送人員52,994人 【実績】収支率49.3%(▲7.5%) 輸送人員56,198人 利用者が増加し、輸送人員の目標は達成したが、人件費・燃油価格等の上昇により経費が増加した為、収支率は目標を達成できなかった。	引き続き、ICカード利用による利便性の向上や割引サービスの周知、公共交通マップの配布等により、利用促進を図る。これらの利用促進の取組を通じて、利用者増加と収支率の改善に努める。
堀川バス株式会社	福島～田ノ原～十籠車庫前	「八女市路線バス通学定期券補助」の学校・家庭への利用呼びかけや、チラシの配布を実施した。ICカード利用による利便性向上の周知や小中高生の「100円・200円運賃」の周知を行い、休日の利用の呼びかけやチラシ配布を実施した。	A 計画通り適切に実施された。	B 【目標】収支率33.8% 輸送人員53,986人 【実績】収支率28.6%(▲5.2%) 輸送人員55,588人 利用者が増加し、輸送人員の目標は達成したが、人件費・燃油価格等の上昇により経費が増加した為、収支率は目標を達成できなかった。	通学定期券補助事業や割引サービスなどの周知継続、八女市乗合タクシーとの接続による利便性向上を通じて、地域住民のバス利用を促進する。これらの取組により、利用者増加と収支率改善に努める。
堀川バス株式会社	瀬高駅前～西鉄柳川～亀の井ホテル柳川	柳川市及びみやま市コミュニティバスに接続する幹線バスの周知を行い、コミュニティバス利用者の路線バスへの利用周知を行った。無料バスの運行を実施し、路線バスの周知や呼びかけを広く実施した。	A 計画通り適切に実施された。	B 【目標】収支率45.7% 輸送人員115,592人 【実績】収支率44.1%(▲1.6%) 輸送人員138,412人 利用者が増加し、輸送人員の目標は達成したが、人件費・燃油価格等の上昇により経費が増加した為、収支率は目標を達成できなかった。	引き続き、ICカード利用による利便性の向上や割引サービスの周知を図り、利用促進を図る。また、柳川市及びみやま市と連携した無料バス運行の取組を継続し、住民に対してバス利用の機会を設けることにより、継続的な乗車のきっかけづくりを行う。これらの利用促進の取組を通じて、利用者増加と収支率の改善に努める。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
昭和自動車(株)	前原～前原駅前・加布里～芥屋の運行 令和7年度 車両購入なし	糸島市では利便増進実施計画を策定予定であり、糸島市内の公共交通網の再編を予定している。また、福岡市と糸島市を結ぶ都市間バスと糸島市内の路線バス乗り放題がセットになった「みどころ満載！糸島半島まるっとおむすびフリーパス」の販売促進に努めており、令和7年度は6,193件の販売実績であった。	A 概ね計画通り事業は適切に実施された。	B 【目標】収支率38.74% 輸送人員63,715人 【実績】収支率37.05%(-1.69%) 輸送人員72,349人 輸送人員は目標に対して8,634人の利用増となった。 輸送人員に関しては観光需要の回復により目標を達成したものの、収支率においては運転士確保のための人件費増加や整備員不足により外注修繕費の増加、さらに車両代替えによる減価償却費やリース料の増加により経費が増大し目標を達成することはできなかった。 (キロ当たり経常費用 R5:333.22円 R7:407.65円)	本路線はアフターコロナの観光需要回復により輸送人員は回復しており、デジタルチケットの更なる販売促進と併せて、今後策定予定の第2次糸島市地域公共交通計画及び糸島市利便増進実施計画に基づき公共交通網の最適化を図る。
昭和自動車(株)	前原～師吉公民館前・初～船越の運行 令和7年度 車両購入なし	糸島市では利便増進実施計画を策定予定であり、糸島市内の公共交通網の再編を予定している。また、福岡市と糸島市を結ぶ都市間バスと糸島市内の路線バス乗り放題がセットになった「みどころ満載！糸島半島まるっとおむすびフリーパス」の販売促進に努めており、令和7年度は6,193件の販売実績であった。	A 概ね計画通り事業は適切に実施された。	A 【目標】収支率21.53% 輸送人員29,650人 【実績】収支率22.92%(+1.39%) 輸送人員35,002人 輸送人員は目標に対して5,352人の利用増となった。 輸送人員に関しては沿線にあるカキ小屋への観光客利用が増加し目標を達成した。収支率においても経費が増大したものの、運送収入が増加したことにより目標収支率を達成することができた。	更なる観光需要喚起のためにデジタルチケットの販売促進や観光施設とタッグを組んだ企画を検討するとともに、今後策定予定の第2次糸島市地域公共交通計画及び糸島市利便増進実施計画に基づく公共交通網の最適化を図る。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
昭和自動車(株)	前原～師吉公民館前・野北～伊都営業所の運行 令和7年度 車両購入なし	糸島市では利便増進実施計画を策定予定であり、糸島市内の公共交通網の再編を予定している。また、福岡市と糸島市を結ぶ都市間バスと糸島市内の路線バス乗り放題がセットになった「みどころ満載！糸島半島まるっとおむすびフリーパス」の販売促進に努めており、令和7年度は6,193件の販売実績であった。	A 概ね計画通り事業は適切に実施された。	B 【目標】収支率20.92% 輸送人員27,459人 【実績】収支率17.91%(-3.01%) 輸送人員30,549人 輸送人員は目標に対して3,090人の利用増となった。 輸送人員に関してはアフターコロナで生活利用者が回復したことや一部観光利用も増えたことで目標を達成した。 収支率においては運転士確保のための人件費増加や整備員不足による外注修繕費の増加、さらに車両代替えによる減価償却費やリース料の増加により経費が増大し目標を達成することはできなかった。 (キロ当たり経常費用 R6:362.61円 R7:407.65円)	次の補助対象年度であるR7.10に本路線を観光で人気のある二見ヶ浦地区へ路線を延伸している。更なる観光利用促進のためのデジタルチケットの販売促進と併せて、今後策定予定の第2次糸島市地域公共交通計画及び糸島市利便増進実施計画に基づき公共交通網の最適化を図る。
昭和自動車(株)	前原駅北口～波多江～九大東ゲートの運行 令和7年度 車両2台購入	通学利用者の利便性向上のためにデジタル定期券の販売しており、令和7年度は278件の販売実績であった。また、利用実態に即したダイヤ設定にするために令和7年10月に運行回数と時刻の変更を実施した。	A 概ね計画通り事業は適切に実施された。	A 【目標】収支率47.15% 輸送人員32,005人 【実績】収支率49.88%(+2.73%) 輸送人員68,762人 輸送人員は目標に対して36,757人の利用増となった。 人件費や燃料費、減価償却費等の経費が増加したものの、路線沿線にマンションや学生寮が建設され通学利用が増えたことにより、目標を達成することができた。	今後も通学利用者の増加と利便性向上のためデジタル定期券の販売普及に努める。また、今後も利用実態に即したダイヤやルートの設定を検討していく。
昭和自動車(株)	周船寺小学校～高田～九大東ゲートの運行 令和7年度 車両2台購入	通学利用者の利便性向上のためにデジタル定期券の販売しており、令和7年度は278件の販売実績であった。また、利用実態に即したダイヤ設定にするために令和7年10月に運行回数と時刻の変更を実施した。	A 概ね計画通り事業は適切に実施された。	B 【目標】収支率50.94% 輸送人員53,679人 【実績】収支率49.88%(-1.06%) 輸送人員59,930人 輸送人員は目標に対して6,251人の利用増となった。 路線沿線にマンションや学生寮が建設され通学利用が増えたものの、運転士確保のための人件費増加や整備員不足による外注修繕費の増加、さらに車両代替えによる減価償却費やリース料の増加により経費が増大し目標を達成することはできなかった。 (キロ当たり経常費用 R6:362.61円 R7:407.65円)	通学利用者の増加と利便性向上のためデジタル定期券の販売普及に努めるとともに、利用実態に即したダイヤやルートの設定を検討していく。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
西鉄バス佐賀(株)	JR久留米～久留米警察署～西鉄鳥栖	<p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久留米広域連携中枢都市圏で作成した公共交通マップをイベント時や久留米バスセンター窓口等で配布した。 ・鳥栖市公共交通マップを各所へ配布した。(MaaSについても記載あり) ・鳥栖支社窓口等では、路線ごとの時刻表を配布した ・令和6年11月25日、鳥栖市役所と協力し、沿線の基里小学校にてバス教室実施。その他以下日程で、鳥栖市内の小中学校にてバス教室を実施した。(令和6年12月2日・・・旭小学校 令和6年12月5日・・・若葉小学校 令和6年12月9日・・・麓小学校) ・令和7年5月25日(日)、はたらくクルマ(in鳥栖プレミアムアウトレット)において、子供向けのバス乗車体験会を実施した。 ・西鉄グループにおいて、令和7年9月23日、西鉄創立記念日に際し、全エリアの一般路線バスが300円で乗り放題となるデジタル乗車券を販売した。 ・西鉄グループにおいて土日祝及び春休み・ゴールデンウィーク・夏休み・冬休みの期間、こども50円バスを実施した。 ・ホームページ、公式X(旧Twitter)、バスナビアプリにて、各種施策(こども50円バスなど)やイベント告知を適宜実施。 ・収支改善策として、令和7年2月1日に運賃改定を実施。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A <p>◆目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績70.0%から収支改善1.0%以上を目標とする。 【輸送人員】令和5年度実績197,332人以上を維持する。</p> <p>◆実績</p> <p>[収支率]72.42% 令和5年度実績から2.42%改善 [輸送人員]189,373人 令和5年度実績から7,959人減少 ※輸送人員は減少したが、運賃改定の効果があり、収支率は改善した。</p>	<p>◆利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年10月4日の「バスの日イベント」に併せて鳥栖市内バス無料を実施し利用促進を図った。 ・さがMaaS事業実行委員会の取り組みに参加し、令和7年10月・11月のサガン鳥栖の試合開催に併せて、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券「西鉄バスで行こう！サガン鳥栖ファミリーきっぷ」を発売した。 また、令和7年10月のTOSU NESTIVAL2025開催に併せて、「西鉄バスで行く！TOSU NESTIVAL2025デジタルきっぷ」を発売した。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
西鉄バス佐賀(株)	鳥栖駅～綾部・国立東佐賀病院前～西鉄久留米	<p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久留米広域連携中枢都市圏で作成した公共交通マップをイベント時や久留米バスセンター窓口等で配布した。 ・鳥栖市公共交通マップを各所へ配布した。(MaaSについても記載あり) ・鳥栖支社窓口等では、路線ごとの時刻表を配布した ・令和6年12月9日…鳥栖市役所と協力し、沿線の麓小学校にてバス教室を実施した。 ※その他鳥栖市の学校2校にてバス教室を実施した(11月25日…基里小学校/12月2日…旭小学校/12月5日…若葉小学校) ・令和7年5月25日(日)、はたらくルマ(in鳥栖プレミアムアウトレット)において、子供向けの乗車体験会を実施した。 ・西鉄グループにおいて土日祝及び春休み・ゴールデンウィーク・夏休み・冬休みの期間、こども50円バスを実施した。 ・ホームページ、公式X(旧Twitter)、バスナビアプリにて、各種施策(こども50円バスなど)やイベント告知を適宜実施。 ・収支改善策として、令和7年2月1日に運賃改定を実施。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <p>◆目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績43.6%から収支改善1.0%以上を目標とする。 【輸送人員】令和5年度実績106,018人以上を維持する。</p> <p>◆実績</p> <p>[収支率]42.18% 令和5年度実績から1.42%悪化 [輸送人員]98,623人 令和5年度実績から7,395人減少</p> <p>◆達成できなかった理由</p> <p>・運賃改定により、一定の収入改善効果はあったものの、乗務員の待遇改善等による運行コストの上昇がこれを上回り、さらに、運賃改定の影響で利用者の逸走が推定されることから、いずれも目標達成ができなかった。</p>	<p>◆利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年10月4日の「バスの日イベント」に併せて鳥栖市内バス無料を実施し利用促進を図った。 ・さがMaaS事業実行委員会の取り組みに参加し、令和7年10月・11月のサガン鳥栖の試合開催に併せて、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券「西鉄バスで行こう！サガン鳥栖ファミリーきっぷ」を発売した。 また、令和7年10月のTOSU NESTIVAL2025開催に併せて、「西鉄バスで行く！TOSU NESTIVAL2025デジタルきっぷ」を発売した。
西鉄バス佐賀(株)	佐賀第二合同庁舎～江見～西鉄久留米	<p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久留米広域連携中枢都市圏で作成した公共交通マップをイベント時や久留米バスセンター窓口等で配布した。 ・令和7年8月25日、あすなろクラブ(佐賀市内の放課後児童クラブ)を対象としてバス教室を実施した。 ・令和7年9月23日、西鉄創立記念日に際し、全エリアの一般路線バスが300円で乗り放題となるデジタル乗車券を販売した。 ・令和6年11月16日、17日の2日間、「佐賀さいこうフェス」のイベントに合わせて佐賀市内で降車された方を対象に運賃が無料となる無料DAYを実施した。 ・西鉄グループにおいて土日祝及び春休み・ゴールデンウィーク・夏休み・冬休みの期間、こども50円バスを実施した。 ・ホームページ、公式X(旧Twitter)、バスナビアプリにて、各種施策(こども50円バスなど)やイベント告知を適宜実施。 ・収支改善策として、令和7年2月1日に運賃改定を実施。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <p>◆目標</p> <p>【収支率】令和5年実績収支率58.7%から収支改善1.0%以上を目標とする。 【輸送人員】令和5年実績187,134人以上を維持する。</p> <p>◆実績</p> <p>[収支率]58.92% 令和5年度実績から0.22%改善 [輸送人員]89,603人 令和5年度実績から97,531人減少</p> <p>◆達成できなかった理由</p> <p>・運賃改定及び運行回数の減により、収支率は改善したものの、乗務員の待遇改善等による運行コストの上昇がこれを上回り、目標は達成できなかった。</p>	<p>◆利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年10月18日と19日の「佐賀さいこうフェス」開催に併せて佐賀市内バス無料DAYを実施し利用促進を図った。 <p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6補助年度と運行回数を比較すると、運転士不足に伴う減便により便数が半減となっている。 ・運行区間の久留米市内中心部は他路線との競合区間もあるため、利用状況を注視していきたい。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
西鉄バス佐賀(株) 西鉄バス久留米(株)	佐賀第二合同庁舎～目達原・長門石～西鉄久留米	<p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントにて公共交通マップを配布した。 ・令和7年8月25日、あすなろクラブ(佐賀市内の放課後児童団体)と協力し、小学生向けのバス教室を実施した。令和6年12月4日、久留米市役所と協力し、京町支社にて、荘島小学校生徒を対象としたバス教室を実施した。 ・令和6年11月16日、17日の2日間、「佐賀さいこうフェス」のイベントに合わせて佐賀市内で降車された方を対象に運賃が無料となる無料DAYを実施した。 ・西鉄グループにおいて、土日祝および春休み・ゴールデンウィーク・夏休み・冬休みの期間、こども50円バスを実施した。 ・ホームページにて、各種施策(こども50円バスなど)やイベント告知を適宜実施した。加えて、公式X(旧Twitter)、バスナビアプリを活用しイベント等のPRを実施した。 ・収支改善策として、令和7年2月1日に運賃改定を実施。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>◆目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績収支率67.6%から収支改善1.0%以上を目標とする。 【輸送人員】令和5年度実績196,976人以上を維持する。 ※西鉄バス佐賀(株)のみの実績</p> <p>◆実績</p> <p>・西鉄バス佐賀のみ 上記目標との比較 [収支率]72.32% 令和5年度実績から4.72%改善 [輸送人員]153,993人 令和5年度実績から42,983人減少 ※運行回数の減により輸送人員は減少したが、運賃改定の効果があり、収支率は改善した。</p>	<p>◆利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年10月18日と19日の「佐賀さいこうフェス」開催に併せて佐賀市内バス無料DAYを実施し利用促進を図った。 ・令和7年7月に定時性向上を目的に所要時間の見直しを実施しており、今後も必要に応じて実施し利便性向上に努めていく。 <p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6補助年度と運行回数を比較すると、運転士不足に伴う減便により便数が9割となっている。 ・運行区間の久留米市内中心部は他路線との競合区間もあるため、今後も利用状況を注視していきたい。
西鉄バス佐賀(株) 西鉄バス久留米(株)	目達原～長門石～西鉄久留米	<p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントにて公共交通マップを配布した。 ・令和7年8月25日、あすなろクラブ(佐賀市内の放課後児童団体)と協力し、小学生向けのバス教室を実施した。令和6年12月4日、久留米市役所と協力し、京町支社にて、荘島小学校生徒を対象としたバス教室を実施した。 ・令和6年11月16日、17日の2日間、「佐賀さいこうフェス」のイベントに合わせて佐賀市内で降車された方を対象に運賃が無料となる無料DAYを実施した。 ・西鉄グループにおいて、土日祝および春休み・ゴールデンウィーク・夏休み・冬休みの期間、こども50円バスを実施した。 ・ホームページにて、各種施策(こども50円バスなど)やイベント告知を適宜実施した。加えて、公式X(旧Twitter)、バスナビアプリを活用しイベント等のPRを実施した。 ・収支改善策として、令和7年2月1日に運賃改定を実施。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>◆目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績収支率97.0%から収支改善1.0%以上を目標とする。 【輸送人員】令和5年度実績184,070人以上を維持する。 ※西鉄バス佐賀(株)のみの実績</p> <p>◆実績</p> <p>・西鉄バス佐賀のみ 上記目標との比較 [収支率]103.41% 令和5年度実績から6.41%改善 [輸送人員]156,350人 令和5年度実績から27,720人減少 ※運行回数の減により輸送人員は減少したが、運賃改定の効果があり、収支率は改善した。</p>	<p>◆利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年7月に定時性向上を目的に所要時間の見直しを実施しており、今後も必要に応じて実施し利便性向上に努めていく。 <p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6補助年度と運行回数を比較すると、運転士不足に伴う減便により便数が9割となっている。 ・運行区間の久留米市内中心部は他路線との競合区間もあるため、今後も利用状況を注視していきたい。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
西鉄バス久留米(株)	早津江～布橋～西鉄柳川	<p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柳川市内の商業・公共施設等にバス無料乗車イベントのチラシを配布。併せて、柳川市の広報誌やホームページにイベントの内容を掲載。 ・令和6年11月22日、23日の2日間、柳川市・みやま市連携でバス無料乗車イベントを実施。2日間で427名利用(前年より61名増) ・令和7年2月、柳川市役所にて小学3年生を対象にバスの乗り方教室を実施。 ・「こども50円バス」を長期休暇および土日祝全日で実施。 ・西鉄バス窓口、市役所窓口にて公共交通マップの配布。 ・令和7年4月24日のONE FUKUOKA BILDG.開業をバス車内で告知し、バスと鉄道の利用促進を図った。 ・収支改善策として、令和7年2月1日に運賃改定を実施。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B <p>◆目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績収支率39.3%から収支改善1.0%以上 【輸送人員】令和5年度実績73,971人以上</p> <p>◆実績</p> <p>[収支率]39.3% 令和5年度実績から横ばい [輸送人員]75,468人 令和5年度実績から1,497人増加</p> <p>◆達成できなかった理由</p> <p>輸送人員は改善したが、乗務員の待遇改善等、運行コストが高騰したため、運賃改定を行ったものの収支率は横ばいとなり、目標値を達成できなかった。</p>	<p>◆利用促進</p> <p>令和8年度下半期に完成が予定されている柳川駅周辺整備に向けて、更なる観光需要獲得を図るため、路線バスにおいても西鉄天神大牟田線特急電車への接続強化や運行経路の変更等を行う。</p>
西鉄バス久留米(株)	大野島農協前～堤・恋木神社・筑後市立病院～羽犬塚駅前	<p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年11月10日、大木町さるこいフェスタにて公共交通マップの配布を実施。 ・令和6年10月27日 筑後広域公園にてちご祭が開催され、はたらく車として出展し、こども運転士体験など実施。 ・令和6年11月26日、筑後市と連携し西鉄バス久留米船小屋車庫にて水洗小学校2年生を対象にバス教室を実施。 ・令和7年9月28日、ゆめタウン大川にて令和7年10月1日バス停新設を記念して子ども運転士体験を実施。 ・「こども50円バス」を長期休暇および土日祝全日で実施。 ・西鉄バス窓口、市役所窓口にて公共交通マップの配布。 ・令和7年4月24日のONE FUKUOKA BILDG.開業をバス車内で告知し、バスと鉄道の利用促進を図った。 ・収支改善策として、令和7年2月1日に運賃改定を実施。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B <p>◆目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績24.2%から収支改善1.0%以上 【輸送人員】令和5年度実績40,343人以上</p> <p>◆実績</p> <p>[収支率]22.1% 令和5年度実績から2.1%悪化 [輸送人員]36,648人 令和5年度実績から3,695人減少</p> <p>◆達成できなかった理由</p> <p>・運賃改定を行ったが、乗務員の待遇改善等、運行コストが高騰したため、収支率が悪化した。</p>	<p>◆利用促進</p> <p>・八丁牟田駅やJR羽犬塚駅と接続しているため、電車乗り換えを考慮し、電車のダイヤ改正がある際は、バスのダイヤ編成も実施していきたい。</p> <p>◆その他</p> <p>・令和7年10月1日にゆめタウン大川への経路変更を実施したため、路線状況を注視していく。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
西鉄バス久留米(株)	大川橋～下林・大善寺～JR久留米	<p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久留米市生活支援交通よりみちバスと当該路線バスで相互に利用できる「1日乗車券」の周知に関して、久留米市ホームページへの掲載及び久留米市コミュニティセンターでの配布。 ・市の公共施設に公共交通マップを配布し、利用促進を図った。 ・令和6年11月、大川支社にて城島小学校2年生約50名を対象にバス教室を実施。 ・令和6年12月4日、久留米市と連携し京町支社にて、荘島小学校1・2年生を対象にバス教室を実施。 ・「こども50円バス」を長期休暇および土日祝全日で実施。 ・西鉄バス窓口、市役所窓口にて公共交通マップの配布。 ・令和7年4月24日のONE FUKUOKA BILDG.開業をバス車内で告知し、バスと鉄道の利用促進を図った。 ・収支改善策として、令和7年2月1日に運賃改定を実施。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B <p>◆目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績40.1%から収支改善1.0%以上 【輸送人員】令和5年度実績122,164人以上</p> <p>◆実績</p> <p>[収支率]38.72% 令和5年度実績から1.38%悪化 [輸送人員]115,121人 令和5年度実績から7,043人減少</p> <p>◆達成できなかった理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運賃改定を行ったが、乗務員の待遇改善等、運行コストが高騰したため、収支率が悪化した。 	<p>◆利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大善寺駅やJR久留米駅と接続しているため、電車乗り換えを考慮し、電車のダイヤ改正がある際は、バスのダイヤ編成も実施していきたい。 ・沿線のイベントに関するチラシをバス車内に吊り下げし利用促進を図っている。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
西鉄バス久留米(株)	今村天主堂～北野～西鉄久留米	<p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年10月16日～11月6日、久留米市耳納市民センターにてバス・鉄道のパネル展を実施及び公共交通マップやノベルティの配布。 ・令和6年9月1日～11月3日、福岡県MaaSの取り組みとして適用範囲を運行する西鉄路線バス・西鉄電車が1日乗り放題となる『FUKUOKA 1DAY PASS』に田主丸エリアの周遊できるグリーンスローモビリティの乗車券や特典クーポンが付いた「田主丸っと もぎもぎきっぷ」を発売。 ・令和6年12月4日、久留米市と連携し京町支社にて、荘島小学校1・2年生を対象にバス教室を実施。 ・令和7年5月31日、久留米大学下(西鉄久留米方面)を新設し利便性の向上を図った。 ・「こども50円バス」を長期休暇および土日祝全日で実施。 ・西鉄バス窓口、市役所窓口にて公共交通マップの配布。 ・令和7年4月24日のONE FUKUOKA BILDG.開業をバス車内で告知し、バスと鉄道の利用促進を図った。 ・収支改善策として、令和7年2月1日に運賃改定を実施。 ・令和6年10月12日、レイリア久留米開業に合わせて、西鉄久留米バスセンター内のベンチや整列ラインの整備、フードコートへバスナビジョンを表示させるなど待合環境の向上を図った。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B <p>◆目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績51.5%から収支改善1.0%以上 【輸送人員】令和5年度実績65,693人以上</p> <p>◆実績</p> <p>[収支率]47.13% 令和5年度実績から4.37%悪化 [輸送人員]56,089人 令和5年度実績から9,604人減少</p> <p>◆達成できなかった理由</p> <p>・運賃改定を行ったが、乗務員の待遇改善等、運行コストが高騰し収支率が悪化した。久留米市内中心部では他路線との競合区間もあるため、中心部のみ移動する利用者が別の路線に振り替わっている可能性が考えられる。</p>	<p>◆利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体やゆめマート大刀洗等の商業施設等と連携し、バスの乗り方教室等を実施していきたい。 ・北野駅や西鉄久留米駅と接続しているため、電車乗り換えを考慮し、電車のダイヤ改正がある際は、バスのダイヤ編成も実施していきたい。 <p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年6月以降、大刀洗町の観光地である今村天主堂が、耐震補強工事のため敷地内の立ち入り制限がかかっており観光利用のバス利用が減少。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
西鉄バス久留米(株)	上原～草野駅前～JR久留米	<p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年10月16日～11月6日、久留米市耳納市民センターにてバス・鉄道のパネル展を実施及び公共交通マップやノベルティの配布。 ・令和6年9月1日～11月3日、福岡県MaaSの取り組みとして適用範囲を運行する西鉄路線バス・西鉄電車が1日乗り放題となる『FUKUOKA 1DAY PASS』に田主丸エリアの周遊できるグリーンスローモビリティの乗車券や特典クーポンが付いた「田主丸っと もぎもぎきっぷ」を発売。 ・久留米市と連携して、令和6年10月に善導寺校区、令和7年2月に山本校区、3月に山川校区にて高齢者向けに(屋内型)バス乗り方教室を実施。 ・令和6年12月4日、久留米市と連携し京町支社にて、荘島小学校1・2年生を対象にバス教室を実施。 ・令和7年5月31日、久留米大学下(西鉄久留米方面)を新設し利便性の向上を図った。 ・「こども50円バス」を長期休暇および土日祝全日で実施。 ・西鉄バス窓口、市役所窓口にて公共交通マップの配布。 ・令和7年4月24日のONE FUKUOKA BILDG.開業をバス車内で告知し、バスと鉄道の利用促進を図った。 ・収支改善策として、令和7年2月1日に運賃改定を実施。 ・令和6年10月12日、レイリア久留米開業に合わせて、西鉄久留米バスセンター内のベンチや整列ラインの整備、フードコートへバスナビジョンを表示させるなど待合環境の向上を図った。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B <p>◆目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績70.1%から収支改善1.0%以上 【輸送人員】令和5年度実績126,366人以上</p> <p>◆実績</p> <p>[収支率]65.52% 令和5年度実績から4.58%悪化 [輸送人員]104,036人 令和5年度実績から22,330人減少</p> <p>◆達成できなかった理由</p> <p>・運賃改定を行ったが、乗務員の待遇改善等、運行コストが高騰し収支率が悪化した。久留米市内中心部では他路線との競合区間もあるため、中心部のみ移動する利用者が別の路線に振り替わっている可能性が考えられる。</p>	<p>◆利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体と連携し、沿線の小学校やコミュニティセンター等でバス教室を実施したい。 ・筑後草野駅や西鉄久留米駅と接続しているため、電車乗り換えを考慮し、電車のダイヤ改正がある際は、バスのダイヤ編成も実施していきたい。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
西鉄バス久留米(株)	JR久留米～久留米市役所～羽犬塚駅前	<p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年2月22日～3月11日、久留米市民温水プールにてバス・鉄道のパネル展を実施及び公共交通マップやノベルティの配布。 ・令和6年10月27日 筑後広域公園にてちっこ祭が開催され、はたらく車として出展し、こども運転士体験など実施。 ・令和6年11月26日、筑後市と連携し西鉄バス久留米船小屋車庫にて水洗小学校2年生を対象にバス教室を実施。 ・令和6年12月4日、久留米市と連携し京町支社にて、荘島小学校1・2年生を対象にバス教室を実施。 ・令和7年8月1日～24日、筑後市の羽犬塚駅周辺循環バススタンプラリー企画に参画し、利用促進を図った。 ・「こども50円バス」を長期休暇および土日祝全日で実施。 ・西鉄バス窓口、市役所窓口にて公共交通マップの配布。 ・令和7年4月24日のONE FUKUOKA BILDG.開業をバス車内で告知し、バスと鉄道の利用促進を図った。 ・収支改善策として、令和7年2月1日に運賃改定を実施。 ・令和6年10月12日、レイリア久留米開業に合わせて、西鉄久留米バスセンター内のベンチや整列ラインの整備、フードコートへバスナビジョンを表示させるなど待合環境の向上を図った。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B <p>◆目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績59.7%から収支改善1.0%以上 【輸送人員】令和5年度実績60,502人以上</p> <p>◆実績</p> <p>[収支率]56.41% 令和5年度実績から3.29%悪化 [輸送人員]54,351人 令和5年度実績から6,151人減少</p> <p>◆達成できなかった理由</p> <p>・運賃改定を行ったが、乗務員の待遇改善等、運行コストが高騰し収支率が悪化した。久留米市内中心部では他路線との競合区間もあるため、中心部のみ移動する利用者が別の路線に振り替わっている可能性が考えられる。</p>	<p>◆利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちっこ祭りや筑後市のりものフェスタなどの地域イベントへの出展をとおして、バスの魅力を知っていただくきっかけとなるような機会を引き続き増やしていきたい。 ・西鉄電車やJR電車の駅に複数接続しているため、電車乗り換えを考慮し、電車のダイヤ改正がある際は、バスのダイヤ編成も実施していきたい。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
西鉄バス久留米(株)	上原～草野駅前～西鉄久留米	<p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年10月16日～11月6日、久留米市耳納市民センターにてバス・鉄道のパネル展を実施及び公共交通マップやノベルティの配布。 ・令和6年9月1日～11月3日、福岡県MaaSの取り組みとして適用範囲を運行する西鉄路線バス・西鉄電車が1日乗り放題となる『FUKUOKA 1DAY PASS』に田主丸エリアの周遊できるグリーンスローモビリティの乗車券や特典クーポンが付いた「田主丸っと もぎもぎきっぷ」を発売。 ・久留米市と連携して、令和6年10月に善導寺校区、令和7年2月に山本校区、3月に山川校区にて高齢者向けに(屋内型)バス乗り方教室を実施。 ・令和7年5月31日、久留米大学下(西鉄久留米方面)を新設し利便性の向上を図った。 ・「こども50円バス」を長期休暇および土日祝全日で実施。 ・西鉄バス窓口、市役所窓口にて公共交通マップの配布。 ・令和7年4月24日のONE FUKUOKA BILDG.開業をバス車内で告知し、バスと鉄道の利用促進を図った。 ・収支改善策として、令和7年2月1日に運賃改定を実施。 ・令和6年10月12日、レイリア久留米開業に合わせて、西鉄久留米バスセンター内のベンチや整列ラインの整備、フードコートへバスナビジョンを表示させるなど待合環境の向上を図った。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B <p>◆目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績41.1%から収支改善1.0%以上 【輸送人員】令和5年度実績64,968人以上</p> <p>◆実績</p> <p>[収支率]36.50% 令和5年度実績から4.60%悪化 [輸送人員]51,429人 令和5年度実績から13,539人減少</p> <p>◆達成できなかった理由</p> <p>・運賃改定を行ったが、乗務員の待遇改善等、運行コストが高騰したため、収支率が悪化した。久留米市内中心部では他路線との競合区間もあるため、中心部のみ移動する利用者が別の路線に振り替わっている可能性が考えられる。</p>	<p>◆利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体と連携し、沿線の小学校やコミュニティセンター等でバス教室を実施したい。 ・筑後草野駅や西鉄久留米駅と接続しているため、電車乗り換えを考慮し、電車のダイヤ改正がある際は、バスのダイヤ編成も実施していきたい。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
西鉄バス久留米(株)	筑後船小屋～筑后市役所～JR久留米	<p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年2月22日～3月11日、久留米市民温水プールにてバス・鉄道のパネル展を実施及び公共交通マップやノベルティの配布。 ・令和6年10月27日 筑後広域公園にてちっこ祭が開催され、はたらく車として出展し、こども運転士体験など実施した。また、同日、「船小屋～筑後船小屋駅前」間を小学生無料とする施策を実施し、バスの利用促進を図った。 ・令和6年11月26日、筑後市と連携し西鉄バス久留米船小屋車庫にて水洗小学校2年生を対象にバス教室を実施。 ・令和6年12月4日、久留米市と連携し京町支社にて、荘島小学校1・2年生を対象にバス教室を実施。 ・令和7年8月1日～24日、筑後市の羽犬塚駅周辺循環バススタンプラリー企画に参画し、利用促進を図った。 ・「こども50円バス」を長期休暇および土日祝全日で実施。 ・西鉄バス窓口、市役所窓口にて公共交通マップの配布。 ・令和7年4月24日のONE FUKUOKA BILDG.開業をバス車内で告知し、バスと鉄道の利用促進を図った。 ・収支改善策として、令和7年2月1日に運賃改定を実施。 ・令和6年10月12日、レイリア久留米開業に合わせて、西鉄久留米バスセンター内のベンチや整列ラインの整備、フードコートへバスナビジョンを表示させるなど待合環境の向上を図った。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A <p>◆目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績78.5%から収支改善1.0%以上 【輸送人員】令和5年度実績170,667人以上</p> <p>◆実績</p> <p>[収支率]80.51% 令和5年度実績から2.01%改善 [輸送人員]147,053人 令和5年度実績から23,614人減少</p>	<p>◆利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちっこ祭りや筑後市のりものフェスタなどの地域イベントへの出展をとおして、バスの魅力を知っていただくきっかけとなるような機会を引き続き増やしていきたい。 ・西鉄電車やJR電車の駅に複数接続しているため、電車乗り換えを考慮し、電車のダイヤ改正がある際は、バスのダイヤ編成も実施していきたい。 ・令和7年10月1日に高良台リハビリテーション病院前バス停を新設し利便性の向上を図った。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
西鉄バス筑豊(株)	新飯塚駅～飯塚・小竹上町～赤池工業団地	<p>①公共施設内でのポスター掲示やチラシの配架を行い、市内各種イベントにおいてノベルティ等の配布を行うことで、バス利用を呼びかけ、路線収益の増加を図った。</p> <p>②広報紙等での利用啓発に向けたPR(福智町)</p> <p>③こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <p>【目標】 収支率45.58% 輸送人員89,535人</p> <p>【実績】 収支率39.27%(▲6.31%) 輸送人員83,954人(▲5,581人)</p> <p>輸送人員が減少し、それに伴い収支率も減少した。</p>	市町内での各種イベント(福祉のつどい等)においてノベルティやチラシの配布を市町と連携して行う事で、利用促進を図る。また、市の広報誌には、こども50円バスやバス運転士募集について掲載し、公共交通機関の利用促進及び運転手確保について強化していく。
西鉄バス筑豊(株)	直方～五反田・鞍手車庫～遠賀川駅	<p>①沿線学校や企業への通勤・通学、病院への通院利用者に対してバス利用の呼びかけを行うことで、利用者の増を図った。</p> <p>②地域住民との意見交換や各種イベントなどで公共交通利用への意識醸成を図る。</p> <p>③出前講座における路線バスのPR</p> <p>④こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <p>【目標】 収支率29.43% 輸送人員83,603人</p> <p>【実績】 収支率27.54%(▲1.89%) 輸送人員70,792人(▲12,811人)</p> <p>需給調整を実施したが、人件費・燃料費など各種費用の高騰もあり、当系統は収支率、輸送人員ともに改善には至らなかった。</p>	役場窓口・公共施設等で、沿線の地域住民や学校、企業へ、通勤・通学、病院への通院利用者に対して、利用の呼びかけ(チラシや時刻表の配布等)を市町と連携して行い、利用促進を図る。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
西鉄バス筑豊(株)	遠賀川駅～新入～直方	<p>①沿線学校や企業への通勤・通学、病院への通院利用者に対してバス利用の呼びかけを行うことで、利用者の増を図った。</p> <p>②地域住民との意見交換や各種イベントなどで公共交通利用への意識醸成を図る。</p> <p>③出前講座における路線バスのPR</p> <p>④こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】 収支率23.95% 輸送人員41,603人</p> <p>【実績】 収支率27.00%(+3.05%) 輸送人員37,722人(▲3,881人)</p> <p>需給調整により、収支率は改善したが、当システムの運行回数を減少させたことで、輸送人員は減少した。</p>	需給調整を実施したことにより収支率の目標を達成しているが、輸送人員においても目標達成すべく、地域住民や学校、企業へ、通勤・通学、病院への通院利用に対して、利用の呼びかけ(バスガイドや時刻表の配布等)を市町と連携して行い、利用促進を図る。
西鉄バス筑豊(株)	西鉄大隈～漆生～飯塚	<p>①観光施設・沿線商店街等へのバス時刻表等の配架および市内各種イベントにおいてノベルティ等の配架を行うことで、バス利用を呼びかけた。また、公共施設内でのポスター掲示やバス利用を呼び掛けるチラシの配架を行うとともに、地域住民に対して公共交通機関の利用促進を呼びかける利用ガイドを配布した。</p> <p>②公共施設内でのポスター掲示やチラシの配架を行い、市内各種イベントにおいてノベルティ等の配布を行うことで、バス利用を呼びかけ、路線収益の増加を図った。</p> <p>③バス利用の呼びかけを行い、バス利用者の増を図った。</p> <p>④市バスとの乗り継ぎを強化、沿線住民の方々への利用促進の呼びかけを行った。</p> <p>⑤普通第二種運転免許取得にかかる費用の一部補助及び、乗務員募集の広報を行い、乗務員不足の解消を図った。</p> <p>⑥こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p> <p>⑦定期券購入補助制度を広報し通学時におけるバス利用の呼びかけを行い、バス利用者の増を図った。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】 収支率43.60% 輸送人員133,140人</p> <p>【実績】 収支率40.63%(▲2.97%) 輸送人員125,098人(▲8,042人)</p> <p>輸送人員が減少したことにより、収支率も減少した。</p>	沿線の地域住民や学校、企業へ、通勤・通学、病院への通院利用に対して、チラシや時刻表の配布等を市町と連携して行い、利用を呼びかける。また、小・中学校の卒業学年を対象に学校を通じて通学等補助金のチラシを配布し、公共交通機関の利用促進を図る。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
西鉄バス筑豊(株)	西鉄大隈～桂川駅～飯塚	<p>①観光施設・沿線商店街等へのバス時刻表等の配架および市内各種イベントにおいてノベルティ等の配架を行うことで、バス利用を呼びかけた。また、公共施設内でのポスター掲示やバス利用を呼び掛けるチラシの配架を行うとともに、地域住民に対して公共交通機関の利用促進を呼びかける利用ガイドを配布した。</p> <p>②公共施設内でのポスター掲示やチラシの配架を行い、市内各種イベントにおいてノベルティ等の配布を行うことで、バス利用を呼びかけ、路線収益の増加を図った。</p> <p>③定期券購入補助制度を広報し通学時におけるバス利用の呼びかけを行い、バス利用者の増を図った。</p> <p>④市バスとの乗り継ぎを強化、沿線住民の方々への利用促進の呼びかけを行った。</p> <p>⑤普通第二種運転免許取得にかかる費用の一部補助及び、乗務員募集の広報を行い、乗務員不足の解消を図った。</p> <p>⑥こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <p>【目標】 収支率41.59% 輸送人員40,757人</p> <p>【実績】 収支率38.12%(▲3.47%) 輸送人員41,068人(+311人)</p> <p>人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。</p>	市町と連携して、沿線の地域住民や学校、企業へ、通勤・通学、病院への通院利用に対して、バス利用の呼びかけを行い、利用促進に努める。また、路線維持に向けた運転士不足改善のため、市の広報紙では運転士募集や二種免許取得助成事業について掲載し運転手確保を強化していく。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
西鉄バス筑豊(株)	山野社宅～上三緒～飯塚	<p>①沿線の高校等(飯塚高校等)の生徒に対しバス利用の呼びかけを行い、バス利用者の増を図った。</p> <p>②市報・市HP等に利用促進の記事を掲載し、観光施設・沿線商店街等へのバス時刻表等の配架を行うことで、バス利用を呼びかけた。また、地域住民に対して公共交通機関の利用促進を呼びかける利用ガイドを配布した。</p> <p>③公共施設内でのポスター掲示やチラシの配架を行い、市内各種イベントにおいてノベルティ等の配布を行うことで、バス利用を呼びかけ、路線収益の増加を図った。</p> <p>④普通第二種運転免許取得に係る費用の一部補助及び、乗務員募集の広報を行い、乗務員不足の解消を図った。</p> <p>⑤こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p> <p>⑥定期券購入補助制度を広報し通学時におけるバス利用の呼びかけを行い、バス利用者の増を図った。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <p>【目標】 収支率49.89% 輸送人員56,408人</p> <p>【実績】 収支率43.38%(▲6.51%) 輸送人員55,396人(▲1,012人)</p> <p>輸送人員が減少したことにより、収支率も減少した。</p>	小・中学校の卒業学年を対象に、学校を通じて通学等補助金のチラシを配布し、公共交通機関の利用促進を図る。また、市の広報紙ではバス運転士募集や二種免許取得助成事業について掲載し、運転手確保についても市町と連携のうえ強化していく。
西鉄バス筑豊(株)	上山田～上三緒～飯塚	<p>①市報・市HP等に利用促進の記事を掲載し、観光施設・沿線商店街等へのバス時刻表等の配架を行うことで、バス利用を呼びかけた。また、地域住民に対して公共交通機関の利用促進を呼びかける利用ガイドを配布した。</p> <p>②公共施設内でのポスター掲示やチラシの配架を行い、市内各種イベントにおいてノベルティ等の配布を行うことで、バス利用を呼びかけ、路線収益の増加を図った。</p> <p>③バス利用の呼びかけを行い、バス利用者の増を図った。</p> <p>④市バスとの乗り継ぎを強化、沿線住民の方々への利用促進の呼びかけを行った。</p> <p>⑤普通第二種運転免許取得に係る費用の一部補助及び、乗務員募集の広報を行い、乗務員不足の解消を図った。</p> <p>⑥こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p> <p>⑦定期券購入補助制度を広報し通学時におけるバス利用の呼びかけを行い、バス利用者の増を図った。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <p>【目標】 収支率63.91% 輸送人員108,098人</p> <p>【実績】 収支率58.19%(▲5.72%) 輸送人員109,848人(+1,750人)</p> <p>人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。</p>	小・中学校の卒業学年を対象に、学校を通じて通学等補助金のチラシを配布し、公共交通機関の利用促進を図る。各種イベントにおいては、沿線の地域住民へ利用の呼びかけ(チラシやノベルティ等の配布)を市町と連携して行い、利用促進を図る。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
西鉄バス筑豊(株)	西鉄後藤寺～川崎～めんべい添田町工場	<p>①当該路線沿線の病院や学校に向けて、利用促進チラシの配布を行うことで、利用者の増を図った。また、イベント開催時に、路線バス・コミュニティバスを含めた周知を行い、利用者の増を図った。</p> <p>②沿線病院等への時刻表の配布と併せて、幹線と接続しているコミュニティバスの便について周知することでバス利用者の増を図った。</p> <p>③市広報紙等での利用啓発に向けたPR(田川市)</p> <p>④こども50円バスを定期的を実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <p>【目標】 収支率38.22% 輸送人員66,546人</p> <p>【実績】 収支率29.63%(▲8.59%) 輸送人員59,538人(▲7,008人)</p> <p>輸送人員が減少したことにより、収支率も減少した。</p>	※令和7年10月1日より系統廃止
西鉄バス筑豊(株)	赤坂橋～有井～飯塚	<p>①公共施設内でのポスター掲示やチラシの配架を行い、市内各種イベントにおいてノベルティ等の配布を行うことで、バス利用を呼びかけ、路線収益の増加を図った。</p> <p>②こども50円バスを定期的を実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A <p>【目標】 収支率65.16% 輸送人員54,114人</p> <p>【実績】 収支率65.37%(+0.21%) 輸送人員49,017人(▲5,097人)</p> <p>路線系統見直しにより、収支率は改善したが、輸送人員が減少した。</p>	路線系統見直しにより収支率は改善しており、更なる輸送人員増に向け、周辺の商業施設でのイベントや役場窓口で市町と連携してチラシの配布を行う事で、利用促進を図る。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
西鉄バス筑豊(株)	明治坑～飯塚～明星寺団地	<p>①公共施設内でのポスター掲示やチラシの配架を行い、市内各種イベントにおいてノベルティ等の配布を行うことで、バス利用を呼びかけ、路線収益の増加を図った。</p> <p>②こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <p>【目標】 収支率71.52% 輸送人員158,553人</p> <p>【実績】 収支率62.14%(▲9.38%) 輸送人員122,653人(▲35,900人)</p> <p>輸送人員が減少したことにより、収支率も減少した。</p>	市の広報誌でのPR(こども50円バス等)や商業施設でのイベントや役場窓口での利用の呼びかけ(チラシの配布等)を市町と連携して行うことで、利用促進及び運転手確保を強化していく。
西鉄バス筑豊(株)	直方～引野口～黒崎	<p>①市民を対象とした出前講演等において、公共交通の維持の重要性等を説明し、公共交通の利用促進を図った。</p> <p>②こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p> <p>③沿線学校の小学生などに対して利用の呼びかけを行うことで、利用者の増を図った。</p> <p>④地域住民との意見交換や各種イベントなどで公共交通利用への意識醸成を図った。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <p>【目標】 収支率67.10% 輸送人員159,506人</p> <p>【実績】 収支率65.08%(▲2.02%) 輸送人員155,134人(▲4,372人)</p> <p>輸送人員が減少したことにより、収支率も減少した。</p>	通勤利用が多い路線であるため、こども50円バスのPRを強化し、土日・長期休暇中の家族を含めた利用の促進を行う。
西鉄バス筑豊(株)	宮田バス停～鞍手車庫～鞍手駅	<p>①時刻表や路線を掲載したバスガイドを、沿線の病院や商業施設等に配布し、路線バス利用者の増を図った。</p> <p>②定期的開催するイベントとの提携(公共交通利用によるイベントへの参加の奨励など)、イベントでのチラシの配布。利用促進に向けた広報での周知。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <p>【目標】 収支率23.82% 輸送人員20,816人</p> <p>【実績】 収支率20.02%(▲3.8%) 輸送人員23,175人(+2,359人)</p> <p>鞍手町役場のリニューアルや路線系統を変更したことにより、輸送人員は増加したが、人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。</p>	市町と連携して、沿線の地域住民や学校、企業へ、通勤・通学、病院への通院利用に対して利用の呼びかけを行う。また、「くらて元気まつり」イベントでは、公共交通啓発の専用ブースを設置し、来場者に対して啓発物(ノベルティやチラシ等)を配布する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
西鉄バス宗像(株)	津屋崎～鐘崎線(東郷駅～波止場・福間海岸～光陽台六丁目)	<p>①福津市が運行するコミュニティバス「ふくつミニバス」との乗継利用にかかる施策を継続し、公共交通の効率化を図った。</p> <p>②沿線学校である光陵高校、水産高校に対して利用の呼びかけを実施した。</p> <p>③路線上エリアの回覧板を使用し、バス利用年齢層の主力となる学生向け商品(ワイドエコルカード)および高齢者向け商品(グランドパス)のPRを行い、利用者増を図った。</p> <p>④大島島内の観光を促進するPR活動を実施することで、大島を訪れる観光客が当該路線を利用することに伴う利用者増を図った。</p> <p>⑤こども50円バスの実施およびPRを行い、バスを知るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【目標】収支率 令和5年度実績61.4%から収支改善1.0%以上を目標とする。 輸送人員 94,720人 【実績】収支率 61.60% (+0.20%) 輸送人員 88,319人 (▲6,401人) 令和6年1月20日に運賃改定の実施及び特殊定期券の見直しを行ったほか、路線系統の見直しにより、収支率は改善したが輸送人員が減少した。	※令和7年10月1日より系統廃止
西鉄バス宗像(株)	津屋崎～鐘崎線(東郷駅～宗像大社～神湊波止場)	<p>①大島島内の観光を促進するPR活動を実施することで、大島を訪れる観光客が当該路線を利用することに伴う利用者増を図った。</p> <p>②路線上エリアの回覧板を使用し、バス利用年齢層の主力となる学生向け商品(ワイドエコルカード)及び高齢者向け商品(グランドパス)のPRを行い、利用者増を図った。</p> <p>③こども50円バスの実施およびPRを行い、バスを知るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【目標】収支率 令和5年度実績69.03%から収支改善1.0%以上を目標とする。 輸送人員 66,533人 【実績】収支率 67.70% (▲1.33%) 輸送人員 62,928人 (▲3,605人) 令和6年1月20日に運賃改定の実施及び特殊定期券の見直しを行ったが、輸送人員が減少したことにより、収支率も悪化した。	沿線利用者に対して、定期券利用のPRを継続し、更なる利用者増に努める。また観光地へのアクセス手段としての利便性を周知し、観光利用の促進につなげる。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
西鉄バス宗像(株)	津屋崎～鐘崎線(鐘崎車庫～宗像コモン・東郷～東郷駅)	<p>①路線上の地域の回覧板等を活用し、バス利用年齢層の主力となる学生向け商品(ワイドエコルカード)及び高齢者向け商品(グランドバス)のPRを行い、利用者増を図った。</p> <p>②地域イベントで時刻表等を配布し、バス利用を促進するPR活動を行い、利用者増を図った。</p> <p>③こども50円バスを実施し、バスを知るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 【目標】収支率 令和5年度実績45.52%から収支改善1.0%以上を目標とする。 輸送人員103,734人 【実績】収支率 49.47% (+3.95%) 輸送人員 96,435人 (▲7,299人) 令和6年1月20日に運賃改定の実施及び特殊定期券の見直しを行ったことにより、収支率は改善したものの、輸送人員の目標値には至らなかった。	沿線利用者に対する定期券利用のPRを継続し、更なる利用者増を図るとともに、運行情報や利用方法の周知を強化して、分かりやすい交通サービスを提供し観光利用の促進につなげる。一方で、利用者が少ない区間については効率的な運行体制の確保が課題であるため、引き続き関係自治体と協議を行う。
西鉄バス宗像(株)	津屋崎～鐘崎線(鐘崎車庫～ネオポリス・宗寿園～赤間営業所)	<p>①路線上の地域の回覧板等を活用し、バス利用年齢層の主力となる学生向け商品(ワイドエコルカード)及び高齢者向け商品(グランドバス)のPRを行い、利用者増を図った。</p> <p>②地域イベントで時刻表等を配布し、バス利用を促進するPR活動を行い、利用者増を図った。</p> <p>③こども50円バスの実施およびPRを行い、バスを知るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【目標】収支率 令和5年度実績42.8%から収支改善1.0%以上を目標とする。 輸送人員 105,690人 【実績】収支率 41.14% (▲1.66%) 輸送人員 93,218人 (▲12,472人) 令和6年1月20日に運賃改定の実施及び特殊定期券の見直しを行ったが、輸送人員が減少したことにより、収支率も悪化した。	沿線利用者に対して定期券利用のPRを継続する一方、利用者が少ない路線であるため、効率的な運行体制の確保について、引き続き関係市町村と協議を行う。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～大牟田市立病院・上町～庄山	<p>今年度は、継続的な利用促進の取組みに加え、運行情報の視認性向上をはじめとした分かりやすく使いやすいバス停を目指し、市内4箇所にスマートバス停を設置するなど、利用者の拡大に努めた。</p> <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント等でのバス出展や運転士体験会の実施 ・バス教室の実施(2校) ・イベント及びバス教室でのチラシ配布 ・デジタルスタンプラリーの実施 ・利用促進事業の実施 ・子ども50円バス、子ども無料バスの実施 ・シーズン毎のバス車内装飾 ・令和6年10月5日に運賃改定を実施 ・スマートバス停の設置 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B <p>定量的な効果目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績収支率30.4%から収支改善1.0%以上を目標とする。</p> <p>【輸送人員】令和5年度実績28,861人以上を維持する。</p> <p>[収支率]24.45% 令和5年度実績から5.95%悪化</p> <p>[輸送人員]21,845人 令和5年度実績から7,016人減少</p> <p>◇達成できなかった理由</p> <p>令和6年10月5日に実施した運賃改定により、一定の収入改善効果はあったものの、人件費・燃油費の高騰により経費が増加し、また、運賃改定の影響で利用者の逸走も生じたことから、いずれも目標達成ができなかった。</p>	<p>◇利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年1月に、ノンステップバスを4台導入。 ・令和7年11月に大牟田市と連携し、「my route」で発売中のおおむた1日乗り放題バスきっぷを100円で販売するキャンペーンを実施し、早期に予定枚数300枚が完売した。今回収集したアンケート結果を基にPR施策を実施していきたい。 <p>◇その他</p> <p>令和7年10月1日に利用者の少ない勝立～庄山間の減便を実施。今後の利用状況を注視していく。</p>
西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～延命公園動物園前・大牟田市立病院・新大牟田駅～南関町役場	<p>今年度は、継続的な利用促進の取組みに加え、運行情報の視認性向上をはじめとした分かりやすく使いやすいバス停を目指し、市内4箇所にスマートバス停を設置するなど、利用者の拡大に努めた。</p> <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント等でのバス出展や運転士体験会の実施 ・バス教室の実施(2校) ・イベント及びバス教室でのチラシ配布 ・デジタルスタンプラリーの実施 ・利用促進事業の実施 ・子ども50円バス、子ども無料バスの実施 ・シーズン毎のバス車内装飾 ・令和6年10月5日に運賃改定を実施 ・スマートバス停の設置 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A <p>定量的な効果目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績37.5%から収支改善1.0%以上を目標とする。</p> <p>【輸送人員】令和5年度実績112,830人以上を維持する。</p> <p>[収支率]39.11% 令和5年度実績から1.61%改善</p> <p>[輸送人員]107,074人 令和5年度実績から5,756人減少</p>	<p>◇利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年1月に、ノンステップバスを4台導入。 ・令和7年11月に大牟田市と連携し、「my route」で発売中のおおむた1日乗り放題バスきっぷを100円で販売するキャンペーンを実施し、早期に予定枚数300枚が完売した。今回収集したアンケート結果を基にPR施策を実施していきたい。 <p>◇その他</p> <p>R5年11月1日より一部区間を並行する同路線他系統(行先番号57-2番)において、新大牟田駅でより多くの新幹線と接続できるよう、新大牟田駅への乗り入れ便数を増加やした(改正前平日28便、改正後平日42便)。また、新大牟田駅周辺では産業団地用地がR6年より分譲開始されている。今後も利便性が高い施策が実施できるよう状況を注視する。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅前～右京町～久福木団地	<p>今年度は、継続的な利用促進の取組みに加え、運行情報の視認性向上をはじめとした分かりやすく使いやすいバス停を目指し、市内4箇所にスマートバス停を設置するなど、利用者の拡大に努めた。</p> <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント等でのバス出展や運転士体験会の実施 ・バス教室の実施(2校) ・イベント及びバス教室でのチラシ配布 ・デジタルスタンプラリーの実施 ・利用促進事業の実施 ・子ども50円バス、子ども無料バスの実施 ・シーズン毎のバス車内装飾 ・令和6年10月5日に運賃改定を実施 ・スマートバス停の設置 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	<p>定量的な効果目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績収支率65.2%から収支改善1.0%以上を目標とする。</p> <p>【輸送人員】令和5年度実績117,169人以上を維持する。</p> <p>[収支率]68.46% 令和5年度実績から3.26%改善</p> <p>[輸送人員]102,447人 令和5年度実績から14,722人減少</p>	<p>◇利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年1月に、ノンステップバスを4台導入。 ・令和7年11月に大牟田市と連携し、「my route」で発売中のおおむた1日乗り放題バスきっぷを100円で販売するキャンペーンを実施し、早期に予定枚数300枚が完売した。今回収集したアンケート結果を基にPR施策を実施していきたい。 ・JR荒尾駅でのJR線との接続の見直しを検討していく。 <p>◇その他</p> <p>近年、早朝夜間時間帯から日中時間帯にご利用がシフトしている傾向にある。一方で1時間に1便程度の運行と、運行便数も少ないため、一定程度は等間隔での運行が必要と考える。今後も状況を注視する。</p>
西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅前～天領橋・高泉団地～三池中町	<p>今年度は、継続的な利用促進の取組みに加え、運行情報の視認性向上をはじめとした分かりやすく使いやすいバス停を目指し、市内4箇所にスマートバス停を設置するなど、利用者の拡大に努めた。</p> <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント等でのバス出展や運転士体験会の実施 ・バス教室の実施(2校) ・イベント及びバス教室でのチラシ配布 ・デジタルスタンプラリーの実施 ・利用促進事業の実施 ・子ども50円バス、子ども無料バスの実施 ・シーズン毎のバス車内装飾 ・令和6年10月5日に運賃改定を実施 ・スマートバス停の設置 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	<p>定量的な効果目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績収支率68.3%から収支改善1.0%以上を目標とする。</p> <p>【輸送人員】令和5年度実績116,207人以上を維持する。</p> <p>[収支率]72.50% 令和5年度実績から4.20%改善</p> <p>[輸送人員]107,240人 令和5年度実績から8,967人減少</p>	<p>◇利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年1月に、ノンステップバスを4台導入。 ・令和7年11月に大牟田市と連携し、「my route」で発売中のおおむた1日乗り放題バスきっぷを100円で販売するキャンペーンを実施し、早期に予定枚数300枚が完売した。今回収集したアンケート結果を基にPR施策を実施していきたい。 ・JR荒尾駅でのJR線との接続の見直しを検討していく。 <p>◇その他</p> <p>近年、早朝夜間時間帯から日中時間帯にご利用がシフトしている傾向にある。一方で1時間に1便程度の運行と、運行便数も少ないため、一定程度は等間隔での運行が必要と考える。今後も状況を注視する。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
西鉄バス北九州(株)	香月営業所～鳥森・JR中間駅～筑鉄中間の運行	<p>・中間市では、当路線の時刻表、路線図等を掲載した冊子を市役所窓口に配架し、当路線の利便性の良さを周知したほか、ホームページで沿線のイベントを案内した。また、沿線の小学校において、西鉄バス北九州と共同でバスの乗り方教室を開催した。</p> <p>・北九州市では、市民を対象とした出前講演等において、モビリティマネジメントを実施することにより公共交通の利用促進に取り組んだ。</p> <p>・西鉄バス北九州では、沿線に所在する学校で定期券説明会を実施した。また、こども50円バスの適用期間を土日祝日に拡大し、将来の新規ユーザー獲得に努めた。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率=34.01%以上 ・輸送人員=38,198人以上 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率=37.7%(達成) ・輸送人員=43,368人(達成) <p>収支率については、待遇改善および軽油単価の高止まりによる費用増があったが、運賃改定の効果及び利用者の増加もあり目標を達成できた。輸送人員については目標を達成した。</p>	<p>・バスの乗り方教室等のモビリティマネジメントを引き続き実施し、利用促進および新規ユーザー獲得を図る。</p> <p>・当該路線の利便性や沿線イベントについて、中間市ホームページでのPRを引き続き実施し、当該路線の利用促進を図る。</p> <p>・長期的な路線維持のため、自治体と事業者によるダイヤ改定実施の検討を引き続き行う。</p>
西鉄バス北九州(株)	行橋営業所～九州労災病院の運行 車両購入2台	<p>・朽網駅～南朽網～北九州空港を結ぶバス路線で増便を行い、乗り継ぎによる北九州空港へのアクセスの利便性を向上させた。</p> <p>・北九州市では、市民を対象とした出前講演等において、モビリティマネジメントを実施することにより公共交通の利用促進に取り組んだ。</p> <p>・苅田町では、各種イベントにて公共交通利用啓発を実施し、本路線が九州労災病院へ直通していることや、こども50円バスキャンペーンについてのPRを行った。</p> <p>・行橋市では、バスの乗り方や路線図を掲載したパンフレットを作成して各所で配布したほか、バスの日にあわせて商業施設で利用促進チラシとグッズの配布を行った。また、公共交通の利用促進事業として市内在住の70歳以上を対象に交通券を販売した。</p> <p>・西鉄バス北九州では、こども50円バスの適用期間を土日祝日に拡大し、将来の新規ユーザー獲得に努めた。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率=28.54%以上 ・輸送人員=72,463人以上 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率=28.1%(未達成) ・輸送人員=74,793人(達成) <p>輸送人員については目標を達成したものの、収支率については、待遇改善および軽油単価の高止まりによる費用増により、達成率が9割強にとどまった。</p>	<p>・関係機関のホームページやSNSでのPRを引き続き実施し、当該路線の利用促進を図る。</p> <p>・利便性向上と長期的な路線維持のため、他交通機関網との接続を意識したダイヤ改定実施の検討を行う。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
西鉄バス二日市(株)	【星ヶ丘線】西鉄二日市駅東口 ～太宰府高校入口	<ul style="list-style-type: none"> ・こども50円バスを土日や長期休暇期間に実施し、将来を見据えた利用促進を図った。 ・沿線エリアの地域住民や通勤・通学者へチラシやノベルティを配布するなど利用促進を図った。 	A 計画通り事業は適切に実施された。	【目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 74.1%以上 ・輸送人員 349,874人以上 【実績】 <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 82.2%(+8.1%) ・輸送人員 207,200人 (▲142,674人) 輸送人員は目標達成には至らなかったが、令和6年1月20日に実施した運賃改定の効果もあり、収支率は目標を達成することができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線の地域住民や学校、企業への通勤・通学および、成人式(二十歳のつどい)の参加者、病院への通院利用に対して、利用の呼びかけ(チラシの配布等)を市と連携して行う事で、利用促進を図る。
西鉄バス二日市(株)	【宇美～太宰府線】太宰府市役所前～JR宇美駅～宇美営業所	<ul style="list-style-type: none"> ・こども50円バスを土日や長期休暇期間に実施し、将来を見据えた利用促進を図った。 ・沿線エリアの地域住民や通勤・通学者へチラシを配布するなど利用促進を図った。 	A 計画通り事業は適切に実施された。	【目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 42.5%以上 ・輸送人員 107,583人以上 【実績】 <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 38.9%(▲3.6%) ・輸送人員 79,118人 (▲28,465人) 令和6年1月20日に運賃改定を実施し、令和6年10月JR宇美駅乗入を開始したが、拘束時間短縮に伴う減便を行ったことにより輸送人員および収支率ともに目標達成には至らなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる利用者増に向けてJR宇美駅へ乗り入れ、JR香椎線との乗り継ぎ案内および成人式(二十歳のつどい)の参加者に対して利用の呼びかけ(チラシの配布等)を関係自治体と連携して実施する。
西鉄バス二日市(株)	【南ヶ丘線】西鉄二日市～平田	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線エリアの小学生へのバス教室の実施、こども50円バスを土日や長期休暇期間に実施するなど、将来を見据えた利用促進を図った。 ・沿線エリアの地域住民や通勤・通学者へチラシやノベルティを配布するなど利用促進を図った。 ・ダイヤ改正を実施し、便数の適正化を行い、効率化を図った。 	A 計画通り事業は適切に実施された。	【目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 82.4%以上 ・輸送人員 309,360人以上 【実績】 <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 83.8%(+1.4%) ・輸送人員 163,493人 (▲145,867人) 路線系統の見直しを実施したことにより輸送人員は目標達成には至らなかったが、令和6年1月20日に実施した運賃改定の効果もあり、収支率は目標を達成することができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・路線系統の見直しを実施したことにより収支率の目標を達成しており、更なる沿線の地域住民や学校、企業への通勤・通学および病院への通院利用に対して、利用の呼びかけ(チラシの配布等)を市と連携して行う事で、利用促進を図る。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
西鉄バス二日市(株)	【つつじヶ丘線】南山手団地～下大利駅～南山手団地	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線エリアの小学生へのバス教室の実施、こども50円バスを土日や長期休暇期間に実施するなど、将来を見据えた利用促進を図った。 ・沿線エリアの地域住民や通勤・通学者へチラシやノベルティを配布するなど利用促進を図った。 ・ダイヤ改正を実施し、便数の適正化を行い、効率化を図った。 	A 計画通り事業は適切に実施された。	【目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 80.9%以上 ・輸送人員 353,948人以上 【実績】 <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 88.4%(+7.5%) ・輸送人員 337,580人(▲16,368人) 需給調整の実施及び令和6年1月20日に実施した運賃改定の効果により、収支率は改善し、収支率は目標を達成することができたが、輸送人員においては、利用者の逸走も見られ、目標達成には至らなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・需給調整を実施したことにより収支率の目標を達成しており、更なる沿線の地域住民や学校、企業への通勤・通学および病院への通院利用に対して、利用の呼びかけ(チラシの配布等)を市と連携して行う事で、利用促進を図る。
西鉄バス二日市(株)	【二日市線】太宰府～吉木入口～西鉄二日市	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線エリアの小学生へのバス教室の実施、こども50円バスを土日や長期休暇期間に実施するなど、将来を見据えた利用促進を図った。 ・沿線エリアの地域住民や通勤・通学者へチラシやノベルティを配布するなど利用促進を図った。 ・ダイヤ改正を実施し、便数の適正化を行い、効率化を図った。 	A 計画通り事業は適切に実施された。	【目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 70.2%以上 ・輸送人員 131,999人以上 【実績】 <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 67.8%(▲2.4%) ・輸送人員 114,002人(▲17,997人) 令和6年1月20日に運賃改定を行ったが、輸送人員の減少が大きく、収支率が悪化し、目標達成には至らなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線の地域住民や学校、企業への通勤・通学および成人式(二十歳のつどい)の参加者、病院への通院利用に対して、利用の呼びかけ(チラシの配布等)を市と連携して行う事で、利用促進を図る。また、利用人員の少ない便については、今後便数の検討を行っていく。
西鉄バス二日市(株)	【二日市線】原営業所前～吉木入口・吉木～西鉄二日市	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線エリアの小学生へのバス教室の実施、こども50円バスを土日や長期休暇期間に実施するなど、将来を見据えた利用促進を図った。 ・沿線エリアの地域住民や通勤・通学者へチラシやノベルティを配布するなど利用促進を図った。 ・ダイヤ改正を実施し、便数の適正化を行い、効率化を図った。 	A 計画通り事業は適切に実施された。	【目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 60.1%以上 ・輸送人員 121,454人以上 【実績】 <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 58.9%(▲1.2%) ・輸送人員 108,219人(▲13,235人) 令和6年1月20日に運賃改定を行ったが、輸送人員の減少が大きく、収支率が悪化し、目標達成には至らなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線の地域住民や学校、企業への通勤・通学および病院への通院利用に対して、利用の呼びかけ(チラシの配布等)を市と連携して行う事で、利用促進を図る。また、利用人員の少ない便については、今後便数の検討を行っていく。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
JR九州バス(株)	山の神～久山～博多の運行 令和5年令和6年 車両購入1台/年	JR九州とタイアップ企画を実施。夏休みや冬休みなど長期休み期間、1日100円で在来線乗り放題になる小学6年生以下を対象としJR九州の企画きっぷ「こどもぼうけんきっぷ」が当社路線バス(福岡地区、佐賀地区、鹿児島地区)も乗車可能に。ご利用になる動機付けとして利用促進を行うことは達成できた。)路線沿線自治体のイベントに参加し、バス展示やバスグッズの販売をしバスに慣れ親しんでもらうい、ご利用になる動機付けとして利用促進を実施。参加したイベント→福岡県のりものフェス、はこフェス、はたらくるま intリアス久山	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 【目標】収支率51.5% 輸送人員77,596人 【実績】収支率54.5% (+3.0%) 輸送人員64,829人 ▲12,767人 ※輸送人員減少の原因は、令和7年4月1日ダイヤ改正にて、1日当たり平日1.0回、土日祝0.5回減便し実車年間走行キロに換算すると12%減少しているため。	引き続き、バスの利用促進活動に取り組む。また、ご利用状況による見直し等、効率的な運行の検討や沿線自治体と連携して持続可能な交通体系を検討していく。 また、昨年度参加したイベントで来場者が多かったイベントに関しては継続して参加し、バスに慣れ親しんでもらうことはもちろんのこと、物品販売も強化し、バスの運送収入以外の収入獲得にも努める。
JR九州バス(株)	直方～鞍手高校前～博多の運行 令和5年令和6年 車両購入1台/年	JR九州とタイアップ企画を実施。夏休みや冬休みなど長期休み期間、1日100円で在来線乗り放題になる小学6年生以下を対象としJR九州の企画きっぷ「こどもぼうけんきっぷ」が当社路線バス(福岡地区、佐賀地区、鹿児島地区)も乗車可能に。ご利用になる動機付けとして利用促進を行うことは達成できた。 路線沿線自治体のイベントに参加し、バス展示やバスグッズの販売をしバスに慣れ親しんでもらうい、ご利用になる動機付けとして利用促進を実施。参加したイベント→福岡県のりものフェス、はこフェス、はたらくるま intリアス久山、へいちくフェスタ、ふくほくフェスタ、ちくほうのりものフェスティバル(イオンモール直方)、みやわかふるさと祭り	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 【目標】収支率48.8% 輸送人員199,345人 【実績】収支率46.7% (▲2.1%) 輸送人員179,152人 ▲20,193人 ※輸送人員減少の原因は、令和7年4月1日ダイヤ改正にて、1日当たり平日3.5回、土日祝3.5回減便し実車年間走行キロに換算すると35%減少しているため。 ※経常収益は、運行継続支援金や要件緩和等の措置がほぼなくなり、経常費用は、給与ペースアップによる人件費高騰等で費用は増加し、収支率が下がった。	当系統は、博多バスターミナルから直方駅までの長距離区間において利用が伸び悩んでおり、全体として乗車密度が低い状況にある。 その主な要因として、利用者がほとんど存在しない犬鳴峠区間を含めて長距離運行を行っていることが挙げられる。 犬鳴峠をまたいだ利用は極めて限定的であり、多くの利用は当社が運行する他の2系統(博多～山の神、福丸～直方駅)によって代替されていることから、当系統は現状の需要構造と必ずしも合致していない状況にある。 今後は、利用区間別の実態を精査した上で、運行回数や系統構成の見直しを検討し、効率的な輸送体系の構築と収支率の改善を目指す。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
JR九州バス(株)	直方～鞍手高校前～福丸の運行 令和5年令和6年車両購入1台/年	JR九州とタイアップ企画を実施。夏休みや冬休みなど長期休み期間、1日100円で在来線乗り放題になる小学6年生以下を対象としJR九州の企画きっぷ「こどもぼうけんきっぷ」が当社路線バス(福岡地区、佐賀地区、鹿児島地区)も乗車可能に。ご利用になる動機付けとして利用促進を行うことは達成できた。 路線沿線自治体のイベントに参加し、バス展示やバスグッズの販売をしバスに慣れ親しんでもらうい、ご利用になる動機付けとして利用促進を実施。参加したイベント→福岡県のりものフェス、へいちくフェスタ、ふくほくフェスタ、ちくほうのりものフェスティバル(イオンモール直方)、みやわかふるさと祭り	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 【目標】収支率60.0% 輸送人員90,276人 【実績】収支率61.2% (+1.2%) 輸送人員76,429人 ▲13,847人 ※輸送人員減少の主な要因として、沿線市町村である直方市および宮若市において、人口が年率約1～2%で減少していることから、人口減少に伴う自然減が影響していると考えられる。	引き続き、バスの利用促進活動に取り組む。また、ご利用状況による見直し等、効率的な運行の検討や沿線自治体と連携して持続可能な交通体系を検討していく。 また、昨年度参加したイベントで来場者が多かったイベントに関しては継続して参加し、バスに慣れ親しんでもらうことはもちろんのこと、物品販売も強化し、バスの運送収入以外の収入獲得にも努める。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
JR九州バス(株)	添田駅～日田駅の運行	<p>開業1周年を記念し、インスタに日田彦山線の魅力を発信してくれた方から100名様に沿線施設から商品をプレゼントする「ハッシュタグキャンペーン」を実施。また、イベントに参加し、バス展示やバスグッズの販売をしバスに慣れ親しんでもらうい、ご利用になる動機付けとして利用促進を実施。参加したイベント→添田町ふる里まつり、福岡県のりものフェス、へいちくフェスタ、ふくほくフェスタ</p> <p>令和6年9月から11月にかけて、添田町、東峰村、日田市を対象としたJR九州フリーウォーキングコースを3コース設定(各市町村1コースずつ)合計でおよそ600人の参加を頂くなど好評をいただく。BRTの利用促進、沿線の魅力発信につながる取り組みとなった。</p> <p>福岡県、添田町、東峰村、日田市の沿線各市町村と沿線飲食店さまとの官民一体型でのMaaSデジタルチケットを発売。</p> <p>また、JR九州とタイアップ企画を実施。夏休みや冬休みなど長期休み期間、1日100円で在来線乗り放題になる小学6年生以下を対象としJR九州の企画きっぷ「こどもぼうけんきっぷ」が当社路線バス(福岡地区、佐賀地区、鹿児島地区)も乗車可能に。ご利用になる動機付けとして利用促進を行うことは達成できた。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <p>【目標】収支率17.7% 輸送人員100,000人</p> <p>【実績】収支率11.4% (▲6.3%) 輸送人員38,803人 ▲61,197人</p> <p>※経常収益低下の原因として、運行継続支援金や要件緩和等の措置がほぼなくなり、経常費用は、給与ベースアップによる人件費高騰等で費用は増加とが考えられる。</p> <p>※輸送人員減少の主な要因として、運行開始当初、新規性や話題性により一時的な利用が発生していたが、時間の経過とともにこうした利用が減少し、現在は通学や買い物等を目的とした地元住民の日常的な利用に移りし落ち着いたことが考えられる。</p>	<p>引き続きバスの利用促進活に取り組む。</p> <p>また、ご利用状況を分析しダイヤ見直し等、効率的な運行の検討を、利用促進を担っている九州旅客鉄道(株)と連携して持続可能な交通体系を検討していく。</p>
<p>※車両については、令和6年度収支率51.3%、令和7年度収支率54.2%であり、燃料高騰等で費用が増加したが、前年比+2.9%で目標を達成。</p>					

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
株式会社 甘木観光バス	田主丸線 甘鉄甘木駅～朝倉医師会病院/小田(経由)～田主丸中央病院 車両更新 ・1台納車(令和4年/8) ・1台納車(令和5年/9) ・1台納車(令和6年/8)	・自治体と連携して、広報誌やホームページ等を活用して、地域住民に働きかけた。 ・QRコード付きティッシュを配布した。 ・田主丸線ダイヤに関する利用者の意見・ご要望を、乗降調査と定期券購入窓口にて収集した。	A ・計画通り事業は適切に実施された。	【目標】 ・収支率 25.43%以上 ・輸送人数59,690人以上 【実績】 ・収支率 29.37% ・輸送人数 76,111人 ※収支率及び輸送人員の目標を達成した。	・自治体と連携して、広報誌やホームページ等を活用して、地域住民へ働きかける。営業窓口での対応時、QRコード付ティッシュを配る。 ・現在、運賃は現金、回数券、定期券が現行であり、電子化には、予算の問題が課題。 ・令和7年度は例年より高校生の乗車が増え、登下校時に車両が満員となることがあったため、利用者の意見をダイヤ改正に反映することを検討する。
新宮タクシー株式会社	山らいず線	/	A ・当初の計画通り、事業は遂行された。	【目標】収支率21.47% 輸送人員91,838人 【実績】収支率32.63% 輸送人員103,927人 収支率及び輸送人員の目標を達成した。	インバウンド対応で車内・バス停等の多言語案内及びバスロケーションの周知に徹底し、利便性向上を図る。周辺施設の情報発信をし、利用促進の呼びかけを行う。
新宮タクシー株式会社	相らんど線 第1ルート	/	A ・当初の計画通り、事業は遂行された。	【目標】収支率57.53% 輸送人員75,348人 【実績】収支率42.53% 輸送人員79,834人 輸送人員の目標を達成したが、物価高騰等による経費の増加により収支率の目標を達成できなかった。	インバウンド対応で車内・バス停等の多言語案内及びバスロケーションの周知に徹底し、利便性向上を図る。新宮町が実施している高齢者利用支援制度の取り組みをPRし、利用促進の呼びかけを行う。また、経費を削減していくために年式の古い車体については、更新計画をたて、更新を進めていく。
新宮タクシー株式会社	相らんど線 第2ルート	/	A ・当初の計画通り、事業は遂行された。	【目標】収支率44.44% 輸送人員60,855人 【実績】収支率42.46% 輸送人員77,667人 輸送人員の目標を達成したが、物価高騰等による経費の増加により収支率の目標を達成できなかった。	インバウンド対応で車内・バス停等の多言語案内及びバスロケーションの周知に徹底し、利便性向上を図る。新宮町が実施している高齢者利用支援制度の取り組みをPRし、利用促進の呼びかけを行う。また、経費を削減していくために年式の古い車体については、更新計画をたて、更新を進めていく。